

伝える力を育むために

子どもの力を育む大人の関わり方について、スクールカウンセラーにお話を聞きました。

▶コミュニケーションは「会話のキャッチボール」といわれますが、そのコツは？

子どもが興味を持っていることに、おうちの人も関心を持って話を聞くことです。子どもがきちんと話せなくてもうなずいたり、相づちを打ったりして聞き役になるといいですね。自分の話を聞いてくれると思うと、次からも話すようになります。

自分の思いや考えを受け止めてもらえると、子どもたちはうれしくてやる気がアップ！周りの大人に自分の気持ちを伝えたり友達と仲良く遊べたりするなど、一生懸命頑張ろうと積極的になります。



▶意思表示が苦手な子どもとのコミュニケーションで気を付けることは？

大人がついつい先回りして注意や禁止の言葉を使うことが続くと、自分で判断できず、大人に決めてもらおうとし、自己主張する力が弱くなる傾向に。子どもは褒められると自信が付き、新しいこともやってみようという意欲が湧いて興味や関心も広がります。子どもがやる気を起こして頑張っていることを褒めましょう。

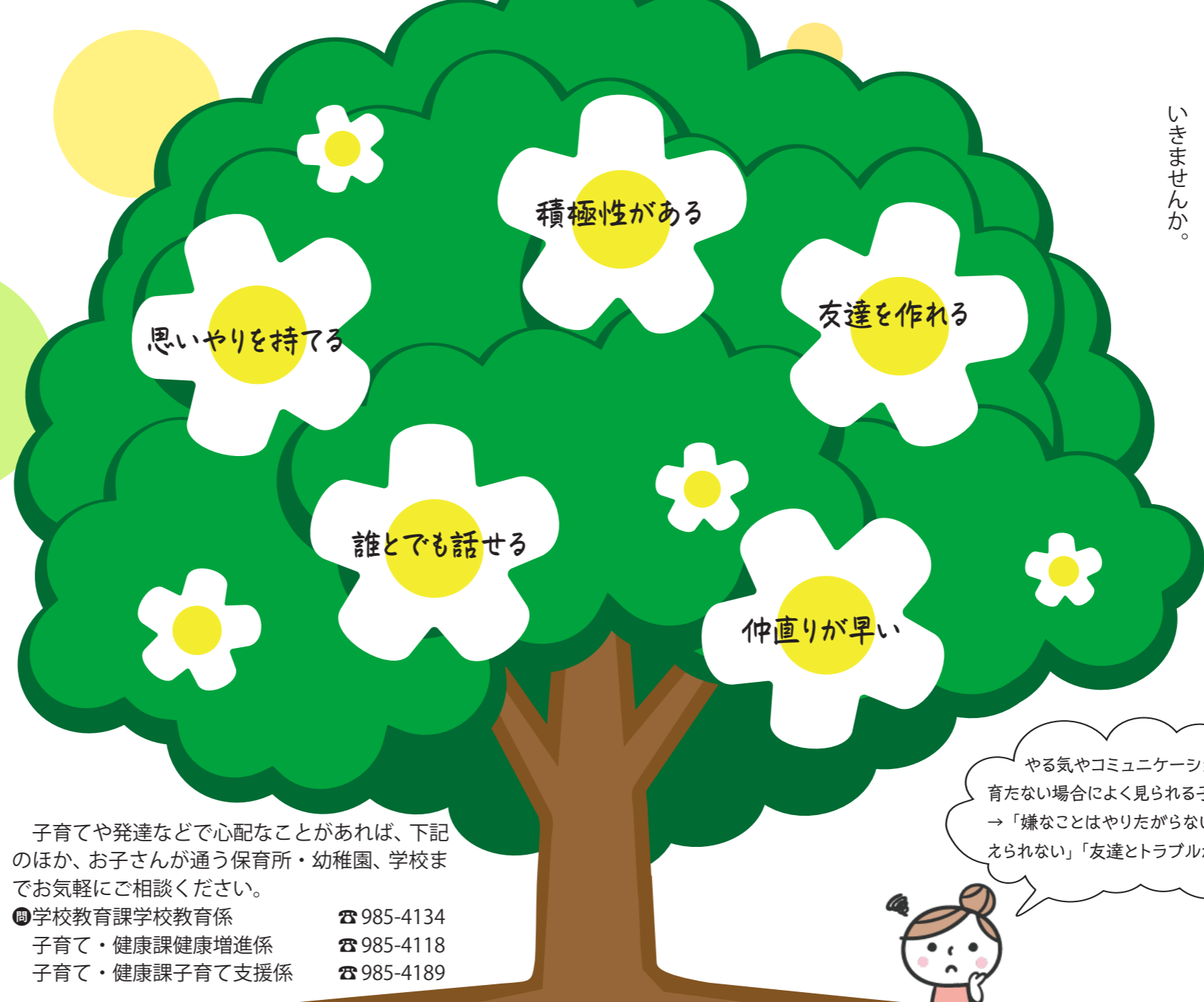


コミュニケーションの基礎となる家庭での会話はとても大切。大人からの温かいエールで、子どもたちの挑戦する意欲が高まります。

▶家庭での会話以外のトレーニング方法は？

地域の人や祖父母と話すなど、さまざまな人との交流も効果的です。「こういう風に言ったら相手はこう感じるよ」と伝えたり、分かりづらい言葉の言い換えを教えたりすると、自然と言葉の使い方が身に付きます。

友達と幅広く触れ合う機会が多く、家族と過ごす時間も長い幼児期や学童期。楽しい時間を共有する中で、思いを言葉にして伝える力を育みましょう。



子育てや発達などで心配なことがあれば、下記のほか、お子さんが通う保育所・幼稚園、学校までお気軽にご相談ください。

☎ 学校教育課学校教育係 985-4134
子育て・健康課健康増進係 985-4118
子育て・健康課子育て支援係 985-4189

やる気やコミュニケーション力が育たない場合によく見られる子どもの姿
→「嫌なことはやりたがらない」「思いを伝えられない」「友達とトラブルが多い」



子どもたちが楽しく生活を送るためには、新しいことに興味を持って最後までやり通したり、自分の気持ちをコントロールして仲間と協力したりすることが大切です。これらの行動は、やる気やコミュニケーション力と深く関係しています。下の七つの経験を通して、家庭でもやり抜く力やコミュニケーション力を育んでいきましょう。

PICK UP

やる気がどんどんアップする

コミュニケーション力を

育もう

指先を使った遊び

「折り紙」「塗り絵」「絵を描く」「工作」ひもを結ぶ、ボタンを留めるなど指先の器用さを身に付けると、集中力や聞く力も高まります。

お手伝い

「洗濯物畳み」「風呂洗い」継続できることを一緒に決めて、できたら感謝の言葉を伝えましょう。できた自信や家族に褒められた体験が次の意欲に。

自分のことは自分で

「片付け」「準備」持ち物の置き場所を決めて、自分でできる片付けを。自分で物を確認すると、忘れ物や探す時間が減ります。

遊びや体験の共有

「運動や遊び」「料理」「演奏」「映画や美術館などの鑑賞」「散歩」共通の体験をすることで会話が豊かになり。家族で一緒に楽しみましょう。

読書・読み聞かせ

「読書」「推理」「絵本の読み聞かせ」相手の立場を想像し、思いやりの気持ちが育ちます。同じ本を読むことで会話も弾みます。

ソーシャルスキルトレーニング

「あいさつ」「自己紹介」「歌」「九九」状況に合わせてあいさつ・お礼や決まっている言葉を相手に伝える練習を！

友達とのトラブル

子どもが自分から話せる場面です。子どもの話をしっかり聞き、どうすればよかったのかを一緒に考えましょう。